



平成 19 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 川口化学工業株式会社
 代表者名 取締役社長 山田 吉隆
 (コード番号 4361 東証第 2 部)
 問合せ先 常務取締役 神保 隆一
 (TEL . 048 - 222 - 5171)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 1 月 23 日の決算発表時に公表した平成 19 年 11 月期 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 19 年 11 月期中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,750	110	55
今 回 修 正 予 想 (B)	3,900	160	80
増 減 額 (B - A)	150	50	25
増 減 率 (%)	4.0	45.5	45.5
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 5 月期)	3,968	176	113

- 2 . 平成 19 年 11 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,500	220	110
今 回 修 正 予 想 (B)	7,800	300	150
増 減 額 (B - A)	300	80	40
増 減 率 (%)	4.0	36.4	36.4
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 11 月期)	7,830	321	137

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 12 円 30 銭

- 3 . 修正の理由

国内ゴム産業は堅調な自動車・自動車タイヤ生産に牽引され、原材料価格の変動の影響は受けましたが、売上高はほぼ前年同期を維持できました。一方、環境用薬品及び新製品の機能性化学品は受注周期が早まり、下期予定分が一部上期に集中しました。その結果、当初予想の業績予想を上回りました。

以 上